

報告第7号

令和3年度読谷村教育委員会事務点検・評価の報告について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定により、令和3年度読谷村教育委員会事務点検・評価を別紙のとおり報告します。

令和4年9月28日提出

読谷村長 石 嶺 傳 實

令和3年度

読谷村教育委員会事務点検・評価報告書

令和4年9月

読谷村教育委員会

はじめに

ハイサイ グスーヨー チューウガナビラ。

平素より本村の教育行政にご理解とご協力を賜り、誠に感謝を申し上げます。

本村では、むらづくりの基本目標を「ゆたさある風水 優る肝心 咲き誇る文化ど
想い合ち（ゆたさあるふんし まさるちむぐくる さちふくるはなどう うむいあわ
ち）」と設定して5つの基本施策に基づきむらづくりに取り組んでおります。

このうち教育分野におけるむらづくりの基本理念として「ちむ^{チュ}清らさあるひとの学び
育ち（一人ひとりが夢を育み、可能性を広げ、生涯輝けるひとづくり）」を掲げ、この
教育分野における5つの基本方針を実現していくために読谷村教育振興基本計画にお
いて、基本目標①子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実、基本目標②生涯
を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展、基本目標③地域との連携に
よる教育環境づくりの3つの基本目標を設定し、各種の事業に取り組んでおります。

新型コロナウイルス感染症の流行拡大によるコロナ禍の2年間は、感染症予防対策に
追われており、その状況は今も継続しております。そのような中、「子どもたちの学び
はどうなっていくのか」という不安もありながら、今を生きる子どもたちに「豊かな教
育を受けさせたい」という保護者の皆様の願いに応えることや、全ての村民が生涯学習
やスポーツを通した生きがいのある心豊かな生活を送ることができるように様々な形
を模索しながら、工夫して教育施策の実施に取り組んでまいりました。

教育委員会事務点検評価報告書につきましては、教育委員会は、毎年、その権限に属
する事務の管理及び執行状況についての点検と評価を行い、その結果に関する報告書
を作成することが法律によって義務付けられており、その作成にあたっては、令和3年度
に実施した事務事業について、各担当課での点検を行い、また報告について客観性を確
保するという観点から教育に関しての学識経験を有する者の知見を図るため、学識経験
者からのご意見をいただき、点検・評価報告書をまとめております。

本報告書が、学校現場はもとより家庭・地域社会において、有効に活用されるととも
に、心身ともに健全な読谷村民を育成する一助になることを期待いたします。

令和4年9月
読谷村教育委員会
教育長 知花 優

目 次

はじめに	1
● 事務点検・評価制度	3
● 施策の体系	5
1 読谷村ゆたさむらビジョン（教育行政関係抜粋）	5
2 読谷村教育振興基本計画	6
● 点検評価結果	7
令和3年度事務点検評価事業一覧	8
1 子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	10
1) 確かな学力の向上	10
2) 健やかな体の育成	19
3) 多様なニーズに対応した教育支援の充実	22
2 生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	25
1) 生涯学習の充実	25
2) 生涯スポーツの推進	32
3) 地域文化の継承・創造・発展	35
3 地域との連携による教育環境づくり	42
1) 健全な青少年の育成	42
2) 地域とともにある信頼される学校づくりの推進	46
3) 新しい時代を展望した教育行政の充実	51
○新型コロナウイルス感染症対策	52

●事務点検・評価制度

1 趣旨

全ての教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に報告するとともに公表することとされています。

読谷村教育委員会では、同法の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、村民への説明責任を果たすために、令和3年度における村教育委員会の事務管理及び執行状況について、学識経験者のご意見をいただき、事務事業の点検及び評価を実施し、報告書にまとめました。

2 点検・評価の対象

点検及び評価の対象は、読谷村ゆたさむらビジョンにおける教育施策に関する事業及び読谷村教育振興基本計画に掲げる施策を実施するための事業から重点課題事項として位置づけられた事業（41事業）及び令和3年度の新型コロナウイルス感染症対策関連事業（1事業）としています。

3 点検・評価の実施方法

(1) 点検及び評価にあたっては、事業の進捗状況等を明らかにし、自己評価を行うとともに、課題等を分析し、今後の対応策を示しております。

(2) 自己評価については、その成果について下記の4段階で評価しました。

レベル	評価内容
A	計画を上回る成果があった。
B	計画どおりの成果があった。
C	計画どおりに実施したが、計画どおりの成果までには至らなかった。
D	計画どおりに実施できなかった。

(3) 点検・評価の客観性を確保するために、教育に関し学識経験を有する外部の方々（学識経験者）の様々なご意見、ご助言をいただきました。ご意見をいただいた方々は、次のとおりです。

学識経験者	経歴等
松田平次	前村教育長、元小学校校長
我如古清秀	社会教育委員会議議長、元小学校教頭

4 点検・評価結果の構成

(1) 施策名

読谷村ゆたさむらビジョンにおける教育行政関連施策及び読谷村教育振興基本計画3施策に係る41事業ごとに点検評価を行っています。また、令和3年度において特別対応で実施した新型コロナウイルス感染症対策に係る1事業についても点検評価を行っております。

(2) 事業概要

各事業の概要及び目標を掲げています。

(3) 令和3年度取組内容

各事業の目標達成に向けて、令和3年度に取り組む予定とした内容(計画)を記載しています。

(4) 令和3年度取組状況

各事業の令和3年度取組状況について、その成果を記載しています。

(5) 自己評価

令和3年度の実施状況(計画から成果)の状況について、分析を行い、自己評価した内容を記載しています。

(6) 課題

令和3年度の実施状況を踏まえ、今後の取り組みを進める上での課題を記載しています。

(7) 次年度以降の取組内容(課題対応)

令和3年度実施に基づく課題を踏まえ、課題解決を行うための今後の対応策について記載をしています。

(8) 学識経験者からの意見

学識経験者の方々から頂いたご意見等について記載しています。

●施策の体系

1 読谷村ゆたさむらビジョン（教育行政関係抜粋）

基本目標 ゆたさある風水 ^{フンシ} ^{マサ} 優る肝心 ^{サチフクルハナドゥ} 咲き誇る文化ど ^{ウム} ^{アワ} 思い合ち

基本施策	施策の方針	施策の展開
<p>2 (夢を育み生涯輝けるひとづくり) ちむ清^{ヂユ}らさあるひとの学^{ヒトウヌマナ}び育^{スタ}ち</p>	1) 子ども子育ての推進	(1) 保育・幼児教育環境と学童保育の充実 (2) 子ども子育て地域支援ネットワークの構築 (3) 笑顔あふれる家庭環境づくり
	2) 子どもの教育の充実	(1) 「生きる力」を育む教育環境・学習活動の推進 (2) 安全・安心な教育環境の充実 (3) 地域と学校が連携した学び場づくりの推進
	3) 地域文化の創造発展	(1) 地域文化の継承・発展 (2) 読谷の歴史・文化・芸術・自然の発信
	4) 生涯学習の充実	(1) 誰でも学べる環境づくりの推進 (2) 地域を担う人材育成の推進
	5) スポーツの推進	(1) スポーツ環境の充実 (2) スポーツに触れる機会の創出

2 読谷村教育振興基本計画

基本理念 ちむ^{デュ}清らさあるひとの^{ヒトウスマナ}学び^{スダ}育ち

～ 一人ひとりが夢を育み、可能性を広げ、生涯輝けるひとづくり ～

基本目標	基本施策	具体施策
1 子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	1 確かな学力の向上	①幼児教育の充実 ②幼児期からの切れ目のない教育の推進 ③基礎学力の定着・応用力の育成に向けた指導方法の改善 ④国際化・情報化等の現代的な課題に対応した教育の推進
	2 豊かな心を培う教育の推進	①平和を希求し、互いを思いやる心の育成 ②自己肯定感の育成 ③いじめの予防対策・対応の充実
	3 健やかな体の育成	①運動に親しむ環境づくりと体力の向上 ②望ましい食習慣・生活習慣の確立
	4 多様なニーズに対応した教育支援の充実	①特別支援教育の充実 ②帰国・外国籍児童・生徒への教育支援 ③子どもの貧困対策の推進 ④キャリア教育の推進
2 生涯を通じた学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	1 生涯学習の充実	①生涯学習の推進体制の充実 ②村民の学習ニーズに応える学習機会と活動支援の充実 ③活動拠点の充実・活用促進 ④読書活動の推進
	2 生涯スポーツの推進	①健康づくりと生涯スポーツの普及推進 ②スポーツ指導者・スポーツ団体の育成 ③スポーツ環境の充実
	3 地域文化の継承・創造・発展	①文化財の保存・活用 ②伝統芸能等の保存・継承 ③郷土に関する資料の収集・保存・活用 ④郷土文化や芸術に触れる場の充実
3 地域との連携による教育環境づくり	1 健全な青少年の育成	①各種体験活動、リーダー育成の充実 ②教育相談・不登校対応の充実 ③読谷村青少年健全育成連絡協議会の充実
	2 地域とともにある信頼される学校づくりの推進	①学校・家庭・地域の連携強化 ②学校施設・設備の充実 ③教職員の資質・能力の向上 ④危機管理対策の充実による学校安全の推進
	3 新しい時代を展望した教育行政の充実	①家庭・地域の教育力の向上 ②教育委員会の充実

●点検・評価結果

令和3年度教育委員会事務点検評価事業一覧表

基本目標	基本施策	事務事業名称	評価	頁	
1 子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	確かな学力の向上	幼稚園教育支援員配置事業	B	10	
		預かり保育事業	B	11	
		学力向上推進事業	B	12	
		小学校学習支援員配置事業	B	13	
		小学校教育振興事務運営事業	B	14	
		中学校学習支援員配置事業	B	15	
		中学校教育振興事務運営事業	B	16	
		小中学校 ICT 環境整備事業	D	17	
		中学生海外ホームステイ派遣事業	D	18	
	健やかな体の育成	給食調理場管理運営事業	B	19	
		給食調理場運営事業（読谷第二・古堅）	B	20	
		給食調理場建設事業	B	21	
	多様なニーズに対応した教育支援の充実	小中学校就学援助事業	B	22	
		小中学校特別支援補助事業	B	23	
		特別支援教育推進事業	B	24	
	2 生涯を通じた学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	生涯学習の充実	社会教育関係指導者育成事業	B	25
			まなびフェスタ事業	B	26
			ふれあい交流館自主事業	C	27
文化センター施設管理運営事業			B	28	
鳳ホール事務運営事業			C	29	
図書館運営事業			C	30	
生涯スポーツの推進		各種スポーツ大会運営事業	C	32	
		後援団体育成事業	B	33	
		体育施設運営事業	B	34	
地域文化の継承・創造・発展		返還軍用地埋蔵文化財発掘調査事業	B	35	
		子ども文化育成事業	C	36	
		沖縄語保存継承事業	B	37	
		鳳ホール自主事業	D	38	
		博物館展示事業	B	39	
		博物館教育普及事業	B	40	
		ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業	B	41	

令和3年度教育委員会事務点検評価事業一覧表

基本目標	基本施策	事務事業名称	評価	頁	
3 地域との連携による教育環境づくり	健全な青少年の育成	地域学校協働活動推進事業	B	42	
		放課後子ども教室推進事業	B	43	
		村子ども会交流事業	D	44	
		青少年センター事務運営事業	B	45	
	地域とともにある信頼される学校づくりの推進	小学校校舎等維持補修事業	B	46	
		古堅南小学校校舎新增改築事業	B	47	
		中学校校舎等維持補修事業	B	48	
		読谷中学校校舎新增改築事業	B	49	
	新しい時代を展望した教育行政の充実	家庭教育相談支援事業	幼稚園園舎等維持補修事業	B	50
			家庭教育相談支援事業	B	51
	新型コロナウイルス感染症対策		学校保健特別対策事業	B	52

1 子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実

1) 確かな学力の向上

1	事業名	幼稚園教育支援員配置事業		
担当部署	学校指導課	学校指導係	事業費	12,034,654円
総合計画施策名	ちむ美らさあるひとの学び育ち		子ども子育ての推進	
教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実		確かな学力の向上	

事業概要	幼稚園において、学級担任のサポート、休みの代替など日常保育のきめ細やかな教育支援を行うために幼稚園教育支援員を配置する。		
令和3年度取組内容(計画)	学級副担任としての役割と担任の年休、病休、研修等で不在の時の代替を担う。早朝、午後の預かり保育へのつなぎをする役割を担い園全体の支援、補助を行うために各園に1人の配置を行う。		
令和3年度取組状況(成果)	各園に幼稚園教育支援員を1人ずつ配置した。学級担任の補助的役割を担うことで、担任と連携した環境整備を行い、きめ細かな園児への対応や保護者支援に繋がった。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		園全体の教育支援、保護者支援に繋がった。	
課題	保護者への子育て支援及び就労支援で早朝登園の受入れも担っているが、園児の迎え入れ、保護者、電話による欠席届受付等対応が重なることがある。		
次年度以降の取組内容(課題対応)	ICT機器の活用を推進するとともに、園務システムの2年以内の導入を検討する。		

学識経験者からの意見	教育支援員が、学校担任と連携し、きめ細やかな支援を実践することにより、子どもの成長及び学びの充実に繋がる。 教育支援員を各園に配置できたことは、園児や保護者の支援に繋がったと評価できる。今後とも、この事業を継続し、幼稚園教育の充実に繋がることを期待する。		
------------	--	--	--

2	事業名	預かり保育事業		
担当部署	学校指導課 学校指導係	事業費	27,268,562円	
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子ども子育ての推進		
教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	確かな学力の向上		

事業概要	幼稚園教育課程に係る教育時間の終了後や長期休業期間中に在園する幼児を対象に保護者の要請に応じて預かり保育を実施し幼稚園を利用する保護者の子育てを支援する。			
令和3年度取組内容(計画)	就労や介護、通院などさまざまな理由により、午前の幼稚園教育課程終了後に保育をすることができない保護者の負担を軽減するため午後の保育を行う。			
令和3年度取組状況(成果)	<p>預かり保育利用人数(園児数に占める割合 令和3年5月) 計 263人(87%)。(内訳) 渡慶次幼稚園 35人(88%)、読谷幼稚園 73人(88%)、喜名幼稚園 45人(98%)、古堅幼稚園 53人(75%)、古堅南幼稚園 57人(93%)</p> <p>幼稚園5園に預かり保育担当職員を合計12人配置した。(5歳児対応10人、4歳児対応2人) 子育て支援及び保護者の就労支援を行った。</p>			
自己評価	B	計画どおりの成果があった。		
	預かり保育を希望する保護者すべてに対応することができた。			
課題	職員の年休代替のパートタイム会計年度任用保育士の確保が難しい。			
次年度以降の取組内容(課題対応)	預かり保育のニーズは高く、子育て支援の充実に向け今後も事業を継続する必要がある。適正な預かり保育担当職員を配置できるよう早めの人材確保に努めるとともに、採用基準を検討する。			

学識経験者からの意見	預かり保育利用人数が合計で263人(87%)に達し、預かり保育のニーズは高い。それ故、子育て支援及び保護者の就労支援が必要である。預かり保育を希望する保護者すべてに対応できたことを高く評価できる。今後の預かり保育事業のさらなる充実に期待する。
------------	---

3	事業名	学力向上推進事業		
担当部署	学校指導課	学校指導係	事業費	3,484,922円
総合計画施策名	ちむ美らさあるひとの学び育ち		子どもの教育の充実	
教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実		確かな学力の向上	

事業概要	学校、家庭、地域の三者が互いに連携し、県の学力向上主要施策「沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ～学びの質を高める授業改善・学校改善～」に示された学力向上取組みの重点を日常的に推進することにより、幼児児童生徒一人一人の「確かな学力」を向上させ「生きる力」を育む。			
令和3年度取組内容(計画)	学力向上推進計画に沿った内容の事業計画を各幼稚園小中学校が立案し、その事業執行のための補助金を読谷村学力向上推進協議会に交付する。 また、ICT研究指定校の設定を行う。			
令和3年度取組状況(成果)	各学校が学力向上の目的に沿った実践を行った結果、児童、生徒の基礎学力の向上に繋がった。5年生国語の学びのたしかめにおいて、県との平均正答率の差が+0.7であった、その後行った県到達度調査では県との平均正答率の差が+1.7になった。 喜名小学校をICT研究指定校に指定			
自己評価	B	計画どおりの成果があった。		
	研究指定校の授業内容の共有を図ることができた。 ICT研究指定校を指定し、5年生国語の公開授業を実施したことで、村内各学校へ研究内容の周知を行うことができた。			
課題	主体的に家庭学習に取り組む習慣の確立を目指した課題の提示や意識の向上			
次年度以降の取組内容(課題対応)	キャリア教育の推進と主体的で対話的な授業展開。授業と連動した宿題の提示やICT機器の効果的な活用の推進を図る。			

学識経験者からの意見	本村の学力向上は、村学力向上推進協議会、各学校・家庭・地域・行政が各々の役割を果たし成果を上げている。さらに、お互いの連携も充実していることが心強い。今年度は、ICT研究校に喜名小学校を指定し、そのICTでも児童生徒の学力の向上に貢献したと評価できる。この研究成果が、村全体に広がることを期待する。
------------	---

4	事業名	小学校学習支援員配置事業		
担当部署	学校指導課	学校指導係	事業費	11,859,459円
総合計画施策名	ちむ美らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実		
教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	確かな学力の向上		

事業概要	児童の基礎基本の定着と学力の向上を図ることや個々の児童に応じたきめ細やかな学習支援を行うため各小学校に学習支援員を配置する。		
令和3年度取組内容(計画)	全学年の児童を対象に小学校5校へ学習支援員を1人ずつ配置する。各学校における学習支援計画に基づき学習支援員を配置し、児童の学習意欲の向上や基礎学力の定着を図る。		
令和3年度取組状況(成果)	計画どおり学習支援員を5人配置することができた。 令和3年度5年生の県学びのたしかめ(算数)において県との平均正答率の差が△3.2%であったが、県学力到達度調査においては、平均正答率の差が△0.3%となり、県との差を縮小することができた。 令和3年度6年生の県学びのたしかめ(算数)及び県学力到達度調査においては、県との平均正答率の差が△0.4%という結果で、ほぼ県平均とみることができる。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		5年6年の算数において、県学びのたしかめと県学力到達度調査の平均正答率の比較を行った。 2つの調査の比較を行うことが出来た。	
課題	正答率が県平均を上回っていない。		
次年度以降の取組内容(課題対応)	課題問題を分析し、個に応じた指導の工夫を図る。 正答率30%未満の児童への手立ての強化を推進する。		

学識経験者からの意見	児童が学習につまずき始めるのは、学習内容に抽象性が含まれてくる時とされている。そこで、各学校に一人ずつ学習支援員を配置し、個々へ丁寧に学習支援をしていくことのできるこの事業は重要となる。人材確保が難しくなっている昨今において、学習支援員を確保し各学校に配置し、児童の学習意欲や学力の向上に繋がったことは評価できる。学習支援員は、各学校に一人の配置であることから、より有効な活用運用が求められる。各学校の柔軟な工夫に期待する。
------------	--

5	事業名	小学校教育振興事務運営事業		
担当部署	学校指導課	学校指導係	事業費	8,394,727円
総合計画施策名	ちむ美らさあるひとの学び育ち		子どもの教育の充実	
教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実		確かな学力の向上	

事業概要	各小学校と連携し、小学校5校の電算機器借り上げ、教材用備品購入、県外大会派遣などに係る事務の運営を行い各小学校の教育の振興を図る。		
令和3年度 取組内容 (計画)	校務用電算機器のリース管理 教材備品、楽器備品の購入、整備 県外大会派遣費補助金に係る事務		
令和3年度 取組状況 (成果)	教材備品40品目 百葉箱フルセット、まな板包丁保管庫を購入 楽器備品7品目購入		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		必要な教材機器、楽器を購入し整備することができた。	
課題	学級新設に伴う学習環境、教材等の整備 計画的に教材機器を整備する。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	学級新設に伴う教材用備品の整備 ICT機器、楽器等の教材備品の購入計画を作成する。		

学識経験者からの意見	学校で使用する教材用備品は、毎年進歩している。特にデジタル関係の進歩は、目を見張るものがある。教材用備品等は、学習を理解するのに大いに役立つものである。必要な教材機器や備品等は、揃えて十分な活用をお願いしたい。今後とも学校と連携を密にし、計画的にこの事業を行うことを願う。
------------	--

6	事業名	中学校学習支援員配置事業		
担当部署	学校指導課	学校指導係	事業費	4,352,950円
総合計画施策名	ちむ美らさあるひとの学び育ち		子どもの教育の充実	
教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実		確かな学力の向上	

事業概要	学習内容の理解・習得に個人差があらわれる数学の教科を学習する中学校1年生を主な対象として、生徒の基礎基本の定着、学力の向上を図ることや個々の生徒のきめ細かな学習支援を行うため、中学校2校に1人ずつ学習支援員を配置する。			
令和3年度取組内容(計画)	中学校2校へ学習支援員を1人ずつ配置する。			
令和3年度取組状況(成果)	個別の指導を行うことで学習の定着と学習意欲の向上につながった。 計画どおり2人配置することができた。 沖縄県学力到達度調査結果 中学校1年生数学の平均正答率46.5% (県平均43.3%)			
自己評価	B	計画どおりの成果があった。		
	数学において平均正答率が県平均を上回っている。			
課題	数学において平均正答率50%未満である。			
次年度以降の取組内容(課題対応)	継続して中学校2校へ各1人ずつ学習支援員を配置し、個に応じた指導の工夫を図る。			

学識経験者からの意見	数学は、抽象的な思考力を求める学習教材が多く、学習内容の理解や習得に個人差が顕著にあらわれる。個々の生徒にきめ細かな学習支援を行い、基礎基本の定着と学習意欲の向上へとつなげていくことが肝要である。その意味で各中学校においては、学習支援員を適切に、有効に活用することにより、生徒の学力向上に寄与できる。この事業の成果が良好であった証として、県学力到達度調査の結果にあらわれている。今後も期待をしたい。			
------------	---	--	--	--

7	事業名	中学校教育振興事務運営事業			
	担当部署	学校指導課	学校指導係	事業費	8,789,509円
	総合計画施策名	ちむ美らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実		
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	確かな学力の向上		

事業概要	各中学校と連携し、中学校2校の電算機器借り上げ、教材用備品購入、県外大会派遣などに係る事務運営と各中学校の教育振興を図る。		
令和3年度取組内容(計画)	校務用パソコンのリース管理、ICT、楽器などの教材備品の購入整備 県外大会派遣費補助金に係る事務 楽器購入		
令和3年度取組状況(成果)	校務用電算機器のリース管理 教材備品購入20品目(デシケーター、双眼実体顕微鏡等を購入) 楽器備品購入7品目 県内外大会派遣費補助金交付 7件		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		県外大会派遣費補助金交付を適切に行うことができた。また、楽器についても計画に基づき購入することができた。	
課題	ICT機器の充実を図る。		
次年度以降の取組内容(課題対応)	ICT環境整備計画を作成し、計画的な環境整備に努める。		

学識経験者からの意見	学校で使われる教材は、子どもたちの教育効果を高め、学習理解を助ける上で極めて重要であり、その充実は不可欠である。それらの趣旨を踏まえ、本事業を通して各学校の教材等の整備は、安定的・計画的に進められている。また、コロナ禍の中でも県外大会派遣費補助金を7件も交付できたことも含めて評価する。
------------	---

8	事業名	小学校ICT環境整備事業		
担当部署	学校指導課	学校指導係	事業費	0円
総合計画施策名	ちむ美らさあるひとの学び育ち		子どもの教育の充実	
教育振興計画基本 目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実		確かな学力の向上	

事業概要	「わかりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成」を図るため、コンピューター関連の機器を教室や授業に取り入れて活用できる教育環境を整備する。			
令和3年度 取組内容 (計画)	整備計画に基づき、小中学校における校内ネットワーク及び児童生徒1人1台の端末整備を行う。			
令和3年度 取組状況 (成果)	コンピューター支援員を配置することが出来なかったが、各学校の情報教育担当者やコンピューターに長けた職員の力を借りて1人1台の端末整備が行えた。			
自己評価	D	計画どおりに実施できなかった。		
	計画的に事業をすすめることが出来ず、コンピューター支援員を配置することが出来なかった。			
課題	業者選定を速やかに行うこと。			
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	他の事業を検討する。			

学識経験者からの意見	政府の教育再生実行会議の提言で、「ICT（情報通信技術）を学びのマストアイテム（必需のもの）」と位置づけて、Society5.0を担う人材育成を推進している。教育の世界は、すでに紙からICTへ、さらにAI社会へと進んでいる。また、教育は、次の時代を生きていく子どもたちを育てていくことでもある。そんな折に、この事業を取り組めなかったのは残念である。この事業の重要性を再認識することを願う。			
------------	--	--	--	--

9	事業名	中学生海外ホームステイ派遣事業		
担当部署	学校指導課	学校指導係	事業費	0円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち		子どもの教育の充実	
教育振興計画基本 目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げ る「学び」の充実		確かな学力の向上	

事業概要	創造性、国際性に富み社会に貢献する人材の育成を図るため、本村在住の中学生12人を英語圏へ派遣する。		
令和3年度 取組内容 (計画)	村内在住の中学生に希望者を募り、12人を上限として対象者を選考する。選考された者に対して、海外ホームステイ費用の補助を行う。帰国後は、報告会の実施とレポート提出を求める。		
令和3年度 取組状況 (成果)	新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け、令和3年度は実施を取りやめた。		
自己評価	D	計画どおりに実施できなかった。	
		新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響を受け、海外渡航が不可能な状況となったため、令和3年度は事業実施を見送った。	
課題	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえた事業実施の判断と代替案の検討 感染症終息後の再開時における周知		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、教育委員会での熟慮を行い、事業実施可能な状況であれば、学校への説明、広報等での周知を図り、取り組みを行う。さらに、他市町村の動向を調査し、海外渡航不可能な場合の代替案を検討する。		

学識経験者からの 意見	この事業は、国際的な視野を持つ人材や、新しい時代に貢献できる人材を育成するために、中学生を英語圏の国に派遣する。このことは、本物の教育であり、参加した中学生を大きく成長させることのできる事業である。今年度もコロナ禍の影響で事業の実施ができなかったことは、残念で心が痛い。有能な人材を育成するためには、欠かせない事業であることから次年度の実施を願う。		
----------------	--	--	--

2) 健やかな体の育成

10	事業名	給食調理場管理運営事業		
	担当部署	給食調理場 給食係	事業費	1,511,978 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子ども教育の充実	
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	健やかな体の育成	

事業概要	学校給食法及び読谷村立学校給食調理場運営方針に基づく学校給食運営をめざすため、適正かつ円滑な村立給食調理場の管理運営を行う。また、学校事務が担っている給食会計事務を総括し、適正かつ円滑な給食会計の管理運営を行う。		
令和3年度取組内容(計画)	安全・安心な学校給食の提供や食育の推進を図るため各給食調理場や給食会計事務を総括し、適正かつ円滑な管理運営を行う。		
令和3年度取組状況(成果)	給食会計の適正な処理を行った。給食費の徴収率としては99.69%となり、ほぼ100%に近づけることができた。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		保護者のご理解と、学校事務担当者の努力による成果と考える。	
課題	給食費の徴収率100%が達成できる方法の構築		
次年度以降の取組内容(課題対応)	今後も、声掛けや文書等での納付呼びかけの実施を行う。 新たな納付方法の構築を行わなければ、100%の目標達成は難しいため、徴収方法について、意見交換を行う。		

学識経験者からの意見	学校給食運営事業は、保護者や各学校、学校給食センターの職員の理解と協力のお陰で、適正かつ円滑な給食調理場の管理運営ができていることを評価する。中でも給食費の納付率が高いことは、学校給食へ保護者からの「信頼と期待」の証と捉えたい。
------------	--

11	事業名	給食調理場運営事業（読谷第二調理場・古堅調理場）		
	担当部署	給食調理場 給食係	事業費	89,517,992 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子ども教育の充実	
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	健やかな体の育成	

事業概要	「子ども達の豊かな心と丈夫な体をつくる学校給食」を基本に、食の安全・安心、栄養バランスのとれた美味しい給食供給、児童生徒の健康、食育及び村民の食生活改善に寄与する学校給食運営をめざす。		
令和3年度 取組内容 (計画)	7 小中学校の児童生徒へ、学校給食衛生管理基準等に基づき衛生管理を徹底し、栄養バランスの取れた美味しく、安全・安心な給食の提供を行う。食育を推進するために給食提供の仕方の工夫や栄養士による給食指導を実施する。		
令和3年度 取組状況 (成果)	栄養士・調理員による衛生管理を徹底し、村内小中学校の児童生徒へ給食提供を行った。 児童生徒が給食を楽しく摂れるように食育の推進を行った。(絵本給食・スポーツキャンプ応援給食・食育の日・イモの日等) 栄養士による給食指導・特別授業を行うことで食への関心を持ってもらえるように取組みを行った。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		栄養士・調理員による衛生管理の徹底が行われ、更に献立の工夫を行う事で、食べることや給食に関心をもってもらえた。	
課題	衛生管理を継続し、安全・安心で美味しい給食提供の維持 給食の残量を少なくする取り組み。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	引き続き衛生管理の徹底を実施し「学校給食摂取基準」を踏まえ多様な食品を適切に組み合わせて、児童・生徒が各栄養素をバランス良く摂取しつつ、様々な食に触れることができるようにする。 継続的な食に関する指導や特別授業を行い、食への関心を高めることで給食の残量を減らすことを目指す。		

学識経験者からの意見	学校給食は、食材の地産地消により郷土の味の提供、さらに献立の工夫等により、安全安心、栄養バランスの取れた美味しい給食を提供している。さらに栄養士による給食指導、特別授業等の実践により、児童生徒が食への関心を高めたことも評価できる。学校給食は、児童生徒の三食のうちの一食であるが、食育教育に大いに貢献していることを見逃してはならない。
------------	--

12	事業名	給食調理場建設事業		
担当部署	給食調理場 給食係	事業費	219,880,875 円	
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子ども教育の充実		
教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	健やかな体の育成		

事業概要	現在稼働が休止している読谷調理場を令和4年度2学期にて稼働を行えるように改修工事を行う。		
令和3年度 取組内容 (計画)	読谷給食調理場改修実施設計（令和2年度より繰越事業） 改修工事（建築・電気・設備・厨房機器） 給食配送車両（ドックシェルター対応車両）の購入（2台）		
令和3年度 取組状況 (成果)	読谷給食調理場改修実施設計の完了 改修工事の契約締結・工事実施 給食配送車両の契約締結		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		令和4年度2学期稼働に向け必要業務の契約（発注）を行うことができた。	
課題	予定通りに改修工事が完了できるように関係課や請負業者と連携する。 改修後における円滑な給食の提供ができるようにシミュレーションを行う。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	土木建築課と連携をはかり改修工事の完了 古堅調理場から読谷調理場へと機能移転を行うことで調理道具や調理方法等も変更となる。読谷第二は4校対応から5校対応へ変更になるため調理・配送シミュレーション等の対応が必要となる。		

学識経験者からの意見	読谷給食調理場の改修の契約締結・工事実施により、本村の学校給食調理場の環境が格段に良好となることを評価する。工事関係者も含めて連携協力のもと、予定通りに改修工事が完了することを願う。
------------	---

3) 多様なニーズに対応した教育支援の充実

13	事業名	小中学校就学援助事業		
担当部署	教育総務課 教育総務係	事業費	64,846,655 円	
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実		
教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	多様なニーズに対応した教育支援の充実		

事業概要	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図るとともに、子どもに学びの機会等を十分に与え「貧困の連鎖」を防止する。		
令和3年度取組内容(計画)	①要保護対象者に修学旅行費を支給する。 ②準要保護対象者に、学用品費、通学用品費、学校給食費、校外活動費、新入学用品費(新入学準備金)、修学旅行費を支給する。 ③全児童生徒へのチラシ配布、オリエンテーションでの制度説明、広報掲載等就学援助の周知に努める。		
令和3年度取組状況(成果)	①要保護対象者に修学旅行費の支給を行った。 対象者：8人(小学校：2人、中学校：6人) ②準要保護対象者に学用品費や学校給食費等の支給を行った。 対象者：731人(小学校：486人、中学校：245人)		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、必要な援助を行うことで、対象児童生徒が安心して学ぶことができ、教育の振興が図られた。		
課題	制度の周知を行っているが、就学援助は保護者の申請に基づくものであり、潜在的貧困世帯を全て対象にすることに限界がある。		
次年度以降の取組内容(課題対応)	SNS等を活用した周知や学校事務と連携し、制度の周知に取り組む。		

学識経験者からの意見	<p>本事業は、経済的な理由で、就学が厳しい児童生徒の保護者に対して、必要な就学援助費を支給し、教育の機会均等に寄与するものである。準要保護対象者に学用品費や学校給食費等の支給の実績が、昨年度より86人増えている。そのことから周知活動に功があったと感じる。</p> <p>教育は、その人を幸せにするために施されることから、教育の機会均等を図ることは、重要な事業である。</p>
------------	--

14	事業名	小中学校特別支援補助事業		
担当部署	教育総務課 教育総務係	事業費	2,637,868 円	
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実		
教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	多様なニーズに対応した教育支援の充実		

事業概要	<p>村立小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図るため、保護者の経済状況に応じて補助を行うことにより、特別支援教育の振興を図る。</p>			
令和3年度 取組内容 (計画)	<p>特別支援教育就学奨励費対象者に、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、学校給食費を給付する。</p>			
令和3年度 取組状況 (成果)	<p>村内小中学校の特別支援学級に在籍する児童の保護者より提出された収入額・需要額調書の審査及び就学援助費の支給費目の単価の1/2の支給を行った。 対象者：76人（小学校：59人 中学校：17人）</p>			
自己評価	B	計画どおりの成果があった。		
	<p>学用品費や給食費等を支給することにより、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減することで、対象児童生徒が安心して学ぶことができる特別支援教育の振興を図ることができた。</p>			
課題	<p>特別支援教育就学奨励費は、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者が対象であるが、その中には就学援助に該当する児童生徒も混在している。</p>			
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	<p>保護者がどちらの制度を利用するか判断が難しいと思われるため、委員会と学校事務が連携して制度の周知に取り組む。</p>			

学識経験者からの意見	<p>学校教育法施行令第22条3（障がいの程度）に該当するお子さんが、充実した学校生活を送ることができるように支援するのが、特別支援教育就学奨励費である。保護者の皆様には、お子さんが特別支援教育を受けるにあたって増加する経済的負担を少しでも軽くするために制度を上手に利用することを願う。担当する職員は、「特別」の冠が、ついている事業であることを十分認識し、関係学校及び保護者と連携を図りながら、制度の周知の努力をお願いする。</p>			
------------	--	--	--	--

15	事業名	特別支援教育推進事業		
担当部署	学校指導課	学校指導係	事業費	1,716,221円
総合計画施策名	ちむ美らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実		
教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	多様なニーズに対応した教育支援の充実		

事業概要	特別な支援を要する幼児児童生徒の教育（就学）支援を行い、幼小中学校の特別支援教育に携わる教職員を対象に研修等を実施する。		
令和3年度取組内容（計画）	教育支援委員会（就学先審議）に向け心理検査の実施 就学先について保護者との面談 幼小中学校に巡回相談員の派遣 教育支援委員会の運営に係る就学事務		
令和3年度取組状況（成果）	教育支援委員会の開催9回 就学支援110人 特別支援教育コーディネーター、特別支援教育支援員の定例会（研修含）5回 巡回相談15回 就学先に向けての保護者面談及び親子面談43件 検査結果のフィードバック73件		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	今年度から新たな取り組みとして保護者及び学校への検査結果のフィードバックを行った。学校、保護者ともに子の理解や支援の手立てになったと評価を得た。さらに、教育支援委員会の運営内容の見直しを行い、事前面談を実施することで、より充実した教育支援委員会の運営を行うことができた。		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援委員会委員への研修 ・検査及びフィードバック実施について、学校や保護者との日程調整に時間を要する。 ・巡回相談員の確保 		
次年度以降の取組内容（課題対応）	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援委員会委員への研修を検討する。 ・限られた期間内で検査実施やフィードバックがスムーズに実施できるよう早めにスケジュールを作成し周知する。 ・巡回相談員の確保に努める。 		

学識経験者からの意見	教育支援委員会の開催が、前年度より3回も増えたこと、さらに巡回相談も前年度より3回増えていることから、丁寧な教育支援の取り組みがなされていると評価する。また、新たな取り組みとして、保護者や学校への検査結果のフィードバックを73回行ったことは、子のより良い理解と的確な教育支援になったものと評価できる。
------------	--

2 生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展

1) 生涯学習の充実

16	事業名	社会教育関係指導者育成事業		
担当部署	生涯学習課	生涯学習係	事業費	109,241 円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち		生涯学習の充実	
教育振興計画基本 目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の 地域文化の継承・創造・発展		生涯学習の充実	

事業概要	社会教育関係団体（青年会・婦人会・子ども会・PTA）及び社会教育委員が一堂に会し研修会を行う。ジュニアリーダー研修会を村主催及び中頭地区社会教育主事協会主催で実施し、様々なプログラムでリーダーとしての人材育成を行う。		
令和3年度 取組内容 (計画)	①社会教育関係団体合同研修会 「じゃばら手帳」活用した課題の整理方法・成年年齢引下げに伴う学習会・社会教育シンポジウム（まなびフェスタ時開催（事前収録））②読谷村ジュニアリーダー研修会・対象：村内小学6年生・中頭地区ジュニアリーダー研修会		
令和3年度 取組状況 (成果)	①社会教育関係団体合同研修会 3回延べ64人 ②読谷村ジュニアリーダー研修会 ・村内小学6年生登録人数4人 9回参加延べ25人 ・中頭地区ジュニアリーダー研修会（ZOOM実施）中学生2人 1回講座		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。 コロナ禍でも中止することなく実施方法を ZOOM と対面で行う等工夫しながら行えた。参加者も積極的に取組み、次年度につなげることができた。	
課題	より多くの会員に研修を受講してもらう。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	各団体へのリーダー研修を各社会教育関係団体の年間計画で位置づけ、かつ、ニーズに合わせたプログラム企画を行う。		

学識経験者からの意見	社会教育団体（PTA・子ども会・青年会・婦人会等）合同研修は、人材の育成、各団体支援の観点から必要な事業である。特に「成年年齢18歳に引き下げ」に関する学習会では、法改正での影響や「成人式」の在り方について意見交換・情報共有を図ることができたものと評価できる。コロナ禍の中、WEB会議や事前収録等の工夫した開催は安全確保のための適切な対応であった。今後とも社会教育団体活動活性化のために支援を望む。		
------------	---	--	--

17	事業名	まなびフェスタ事業		
担当部署	生涯学習課	生涯学習係	事業費	377,179 円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち		生涯学習の充実	
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通じた学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展		生涯学習の充実	

事業概要	生涯学習に関わる活動を展開している各種団体・組織・部署の活動を集約し、広く村民へ紹介することにより、村民の社会教育・生涯学習活動への参加促進を図り、ふれあい交流館及び自治公民館等で活動しているサークルや講座等の活動報告を行う場とすることを目的とする。			
令和3年度取組内容(計画)	オープニングセレモニー・生涯学習講演会・社会教育関係団体活動展・サークル舞台発表及び展示発表・子ども体験・社会教育シンポジウム			
令和3年度取組状況(成果)	<p>コロナ感染拡大防止により直前でオンラインに変更して事業を開催した。動画配信では視聴数 8,000 件となった。</p> <p>◇動画配信：17 講座 ◇ZOOM 講座：4 講座延べ 50 人参加</p> <p>主な動画配信は、PTA 連合会による LGBTQ 講演会、村婦人会社会教育委託学級報告、社会教育シンポジウム、わんぱく広場理科実験ショー</p> <p>◇来場参加：2 項目（パークゴルフ体験 32 人、子ども食堂弁当 200 食配布）</p> <p>各々の団体もコロナ禍の開催を工夫して取り組むことができた。</p>			
自己評価	B	計画どおりの成果があった。		
	オンラインに計画変更を行い開催したが、多くの村民の参加・オンラインによる視聴があり生涯学習・社会教育活動を周知することができた。			
課題	情報発信する為の編集に伴う時間の確保			
次年度以降の取組内容(課題対応)	動画編集講座を社会教育関係団体及び職員が受講し、日常的に情報発信する工夫を行い、情報を村民へ発信する。			

学識経験者からの意見	<p>コロナ感染拡大防止のため「オンライン」による開催は、動画視聴数 8,000 件と多くの方が参加され成果があり、「学びの機会の提供」ができたものと評価できる。コロナ禍の中では「オンライン講座」の開催は安全確保の有効な一つの方法と考える。コロナ対策は今後しばらく続くと考えられ、安全第一で状況に応じた開催ができるよう柔軟な対応が必要である。数値的な目標（参加者数・団体数等）についても現状を踏まえ無理のない設定での実施を望む。</p>			
------------	--	--	--	--

18	事業名	ふれあい交流館自主事業		
担当部署	生涯学習課 文化センター係	事業費	510,408円	
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実		
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	生涯学習の充実		

事業概要	村民が、興味を持って取り組める講座や教室を開催し、閉講後も自主的に活動を継続できるような、生涯学習のきっかけづくりを行う。		
令和3年度取組内容(計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい交流館自主事業として講座・教室の企画運営 ・自治公民館講座の開催（自治公民館に委託） 		
令和3年度取組状況(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい交流館自主事業として18の講座・教室を計画していたが、新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止が相次ぎ、3教室の開催にとどまった。 ・自治会が企画運営する自治公民館講座を委託することで、集い学ぶ場としての自治公民館の活動支援が図られた。 		
自己評価	C	計画どおりに実施したが、計画どおりの成果までには至らなかった。開催に向けての講師調整、事務調整は順調であったが、感染防止のため実施に至らず計画どおりとはならなかった。	
課題	SNSを活用し講座を企画運営するには、村民ニーズだけではなく、職員の技術、講師のスキルの確保や、著作権等についても確認していく必要がある。		
次年度以降の取組内容(課題対応)	「集い、学び、交流する」を事業基本としながら、オンライン配信等を活用しいつでも学べる環境を提供していきたい。そのためには、SNS活用の先進事例を確認し、職員がその手法を習得できるように学ぶ機会を設ける。		

学識経験者からの意見	感染症感染防止のための変更・中止等は安全確保に向けた対応で適切であった。課題のコロナ禍の中では「オンライン講座」の開催は安全確保の有効な一つの方法と考える。オンライン講座は内容により適・不適もあるが継続的な取組を検討するいい機会である。今後とも先進事例からの研修に努め、学びの循環に向けた取り組みの推進を望む。
------------	---

19	事業名	文化センター施設管理運営事業		
担当部署	生涯学習課 文化センター係	事業費	93,457,476円	
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実		
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	生涯学習の充実		

事業概要	文化センター施設の管理を行う。		
令和3年度 取組内容 (計画)	文化センター施設管理 ・空調機器改修工事(第5期)※最終年度 ・防水塗装工事(第4期)※最終年度		
令和3年度 取組状況 (成果)	施設の維持管理のために防水塗装工事(第4期)、空調機器改修工事(第5期)を計画的に行い、快適に利用しやすい施設環境づくりに努めた。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	施設、設備の経年劣化が見られる箇所も多く、今後も改修工事、施設備品等の入れ替えが必要とされる。職員で修繕可能箇所は職員で修繕し、大切に使用することを心掛けた。		
課題	施設、設備の経年劣化が見られることから、長期的な計画をたて、改修工事、施設備品等の入れ替えを行うことが必要である。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	多くの利用者に快適に利用していただく事を念頭に、優れた芸術の鑑賞や、取り組みの成果を発表する場であることから、管理を十分に行い、安全で快適に利用しやすい施設づくり、保持に努める。		

学識経験者からの意見	文化センター施設維持管理を目的に防水塗装工事、空調機器改修工事が計画的に進められており評価される。現状ではコロナ感染症感染拡大により感染症感染拡大予防ガイドライン設定による安全性を高めた提供は必要である。今後とも利用しやすい施設として適正な維持管理を望む。
------------	--

20	事業名	鳳ホール事務運営事業		
担当部署	生涯学習課 文化センター係	事業費	496,182 円	
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実		
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	生涯学習の充実		

事業概要	生涯学習の場としての文化センターを管理運営する。		
令和3年度取組内容(計画)	沖縄県公立文化施設協議会、全国公立文化施設協会の負担金や村文化協会への補助金が主である。		
令和3年度取組状況(成果)	年度負担金については、予定どおり納付した。 村文化協会への補助金については、協会と調整をし、前年度においての未執行事業についての予算を減額し補助を行った。		
自己評価	C	計画どおりに実施したが、計画どおりの成果までには至らなかった。	
		村文化協会補助金への補助金交付については、前年度で未執行事業分を減額し交付する旨の調整がされていた事により、事業編成時の資料や過年度の事業経費等を勘案して減額交付した。	
課題	減額交付することで、当年度の事業執行に支障が無いかを確認、又コロナにより無理のない事業運営が可能かも考慮しながら、今後の交付算定額を見直す必要があると考えている。		
次年度以降の取組内容(課題対応)	補助金交付団体の活動をサポートし、村民の文化・伝統芸能活動が途切れることなく継続できるようにする。		

学識経験者からの意見	コロナ感染症感染拡大により文化活動も急な活動休止や公演中止等といった厳しい現状があり成果判断も難しいところがある。しかし、各文化芸能活動については、地域伝統文化の継承、村民の文化意識の高揚の観点からその継続については意義がある。そのため、統括団体である村文化協会へ補助金の交付は協会の円滑な運営をサポートのためのものであり必要と考える。今後とも村民の文化に触れる機会が維持できるよう支援を望む。		
------------	---	--	--

21	事業名	図書館運営事業		
担当部署	生涯学習課 図書館係	事業費	24,962,617円	
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実		
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通じた学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	生涯学習の充実		

事業概要	図書館資料及びレファレンス機能を活用し、地域課題の解決に対応する情報を広く提供し、暮らしの中に役立つ情報センターとしての機能を有する地域支援型図書館として、村民サービスに寄与する。
令和3年度取組内容(計画)	①図書館資料の貸出サービス②予約、リクエスト、レファレンスサービス③講座や主催事業の実施④図書館見学、職場体験等の受入れ⑤嘉手納町立図書館との相互利用の展開⑥学習室等による学習の場の提供⑦図書館ボランティア活動支援⑧電子図書館サービス
令和3年度取組状況(成果)	①貸出件数(延べ91,658件)②利用人数(延べ16,351人)③予約・リクエスト(延べ2,281件)④レファレンス(延べ2,563件)⑤嘉手納町立図書館の相互利用人数・貸出件数(延べ2,897人、延べ19,288件)⑥学習室利用(延べ982人)⑦インターネット利用(延べ65人)⑧AVブース利用(延べ26人)⑨電子図書館の貸出冊数・利用人数(延べ1,829冊、延べ497人) ・電子図書館利用によるサービス拡充(電子書籍所蔵 1,471冊) ・主催事業として、①『夜の図書館』②読み聞かせボランティア講座「ブックトーク講座」のオンライン(Zoom)開催③毎月の定例行事④感染症対策として「ブックカバー講座」の動画配信等の実施、ドライブスルー方式での貸出等を行い、村民の読書活動支援を行った。
自己評価	C 計画どおりに実施したが、計画どおりの成果までには至らなかった。 コロナ禍での臨時休館や図書館サービス利用の一部制限、行事の中止等もあり、多くの項目でコロナ禍以前の実績を下回ったが、感染症対策を取りつつ、新たな方法による図書館サービス・イベントを実施し、利便性の向上を図る環境整備を行った点は成果があった。
課題	・電子図書館の利活用促進 ・(仮称)読谷村総合情報センターへの移行に向けての調整・整備 ・書庫の収納スペース不足による閉架資料の分散保管(恒常的課題)
次年度以降の取組内容(課題対応)	・(仮称)読谷村総合情報センターへの移行に向けての調整・整備(未登録資料(郷土資料)の整備、業務内容の引継調整等) ・電子図書館の周知活動強化、電子書籍蔵書数増加による機能充実

学識経験者からの	村民へ地域の課題に対応する情報提供、体験活動、学習室の提供、図書館活動の周知等多くの事業が取り組まれている。コロナ禍の中、安全性を高めたサー
----------	--

意見	ビス提供に向け新たな取組や工夫が行われたのは評価できる。コロナ感染症感染拡大による利用制限、一部行事中止は安全確保のためであり適切な対応であった。電子図書館サービス（電子書籍）やレファレンス、ネット利用等、来館することなく受けられるサービス提供に向けては機能の充実を望む。
----	--

2) 生涯スポーツの推進

22	事業名	各種スポーツ大会運営事業		
担当部署	生涯学習課	スポーツ振興係	事業費	116,500円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち		スポーツの推進	
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展		生涯スポーツの推進	

事業概要	村民が生涯にわたりスポーツを親しみ、体力の向上や健康増進を図ることを目的とする。		
令和3年度取組内容(計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・第29回教育長旗争奪中学校ソフトボール大会 ・読谷けんこうまつり(古希・シニアソフトボール大会、体力テスト) ・新春トリムマラソン及び第22回小学生駅伝大会 		
令和3年度取組状況(成果)	<p>第29回教育長旗争奪中学校ソフトボール大会は、感染対策を講じて開催することができた。</p> <p>緊急事態宣言下であった読谷けんこうまつり、新春トリムマラソン及び第22回小学生駅伝大会は中止となった。</p> <p>読谷けんこうまつりは、中止となったが、ウォーキング動画の配信を行った。再生件数：477回</p>		
自己評価	C	計画どおりに実施したが、計画どおりの成果までには至らなかった。	
		中学生の大会は、開催することができたので、子ども達の競技力向上、健全育成に寄与できたものとする。他、ウォーキングコース紹介の動画配信を行えたことは、村民の健康増進の意識づけに寄与できたものとする。	
課題	コロナの影響で、けんこうまつりにおける古希・シニアソフトボール大会、体力テスト及び新春トリムマラソン、第22回小学生駅伝大会が実施できなかった。		
次年度以降の取組内容(課題対応)	実施できなかった大会等の時期などを考慮しながら、感染対策を講じて実施したい。		

学識経験者からの意見	<p>コロナの影響により、大会の開催中止や代替え実施は安全確保のため適切な対応であった。動画配信等の取組は、村民の健康増進の意識向上に寄与できたものとする。児童生徒の健全育成にはスポーツ振興の意義は大きく最大限の支援を望む。今後も各スポーツ大会開催に向けては各競技の特性に応じたガイドライン等情報共有・確認しながらの開催を望む。</p>
------------	--

23	事業名	後援団体育成事業		
担当部署	生涯学習課	スポーツ振興係	事業費	3,316,467円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち		スポーツの推進	
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展		生涯スポーツの推進	

事業概要	各種団体に補助金等を支出し活動を支援することにより、団体の育成やスポーツ指導が充実し、青少年の健全育成、将来のスポーツ選手の育成に繋げる。
令和3年度取組内容(計画)	以下の団体に負担金及び補助金を交付することにより、活動支援を行う。 【負担金】 中頭郡スポーツ協会、沖縄県スポーツ推進委員協議会、中頭地区スポーツ推進委員協議会、中頭地区社会体育研究協議会 【補助金】 読谷村体育協会、少年野球読谷支部、読谷村ソフトボール協会、読谷村ラグビー協会、読谷村サッカー協会
令和3年度取組状況(成果)	各種団体へ負担金、補助金を交付して活動支援を行った。 コロナ禍ではあったが、各団体共に緊急事態宣言時以外は、感染対策を講じて工夫しながら、大会等の実施に取り組み、競技力向上及び青少年の健全育成に寄与した。
自己評価	B 計画どおりの成果があった。
	各種団体の活動によって、本村のスポーツの普及や振興に寄与した。内容として、スポーツコンベンションの受入れや村体協主催夏季大会の運営に協力した。
課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、村ラグビー協会と共催で開催予定であった、ラグビー大会が実施できなかった。
次年度以降の取組内容(課題対応)	実施できなかったラグビー大会の時期等を考慮して、感染対策を講じて、実施したい。

学識経験者からの意見	各種団体への負担金や補助金の交付は、地域スポーツの普及・振興に寄与するものでありスポーツ推進に意義がある。コロナ感染症感染防止策を講じ工夫し開催できたことは成果があった。今後ともコロナ感染症感染防止対策を徹底し、大会開催に向けては各競技の特性に応じたガイドライン等情報共有・確認しながら開催されるよう望む。
------------	---

24	事業名	体育施設運営事業		
担当部署	生涯学習課	スポーツ振興係	事業費	84,841,093円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち		スポーツの推進	
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展		生涯スポーツの推進	

事業概要	競技スポーツ及び生涯スポーツの施設として活用し、快適なスポーツ環境等を継続して提供できるよう維持管理を行う。		
令和3年度取組内容(計画)	管理する体育施設の維持管理、利便性向上を図るため備品等の購入、各種スポーツキャンプの受入れを行った。		
令和3年度取組状況(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・平和の森球場 245件延べ10,127人 ・多目的広場 316件延べ17,183人 ・運動広場 157件延べ13,186人 ・テニスコート 137件延べ2,031人 ・陸上競技場 327件延べ11,412人 ・残波岬テニスコート 938件延べ5,409人 ・残波岬ボールパーク 78件延べ3,077人 ・トレーニング室 3,828件延べ3,828人 ・ゆんたんざソフトボール場 36件延べ1,956人 ・体育センター(コロナワクチン接種会場のため、利用不可) <p>コロナ禍ではあったが、スポーツキャンプの受入れが回復してきた。特にラグビーキャンプにおいては、コロナ禍前の平成31年度の利用件数を上回った。 スポーツキャンプ受入件数：野球1件 サッカー2件 ラグビー7件 陸上1件</p>		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で停止した期間はあったものの、施設の利用は回復してきた。スポーツキャンプの受入れについても女子ソフトボール日本代表のキャンプは中止となったが、ラグビーキャンプは、コロナ禍前よりも受入が伸びた。		
課題	昨年、課題としていた新たな予約システム導入について、調査や財源の確保等ができなかった。		
次年度以降の取組内容(課題対応)	利用率向上のためには、システムの導入が必要と考えるが体育施設だけでなく文化施設についても一元化したシステムを調査していく。		

学識経験者からの意見	各スポーツ施設とも適切な管理運営がなされている。コロナ禍の中、利用者の安全を考慮した運営がなされ、多くの村民が施設を利用しており成果があったと認められる。感染対策のための使用停止は安全確保のため対応は適正であった。今後とも施設の提供に向けては、コロナ感染症感染拡大予防ガイドラインに従い、HPや施設内の掲示等で利用者の感染防止対策が徹底されるよう望む。
------------	--

3) 地域文化の継承・創造・発展

25	事業名	返還軍用地埋蔵文化財発掘調査事業		
担当部署	文化振興課	文化振興課係	事業費	21,722,719円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち		地域文化の創造発展	
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通じた学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展		地域文化の継承・創造・発展	

事業概要	文化財を保存し、且つその活用を図るため、返還軍用地等における埋蔵文化財の発掘調査及び報告書発刊のための資料整理を行う。	
令和3年度取組内容(計画)	<p>①埋蔵文化財の有無確認に対する回答を行う。</p> <p>②開発調整のための試掘調査及び立会を行う。</p> <p>③トリイ通信施設地内徳地原遺跡 A・B の報告書作成に向けた資料整理を行い、また、比謝川・長田川流域グスク群として、メーダグシク・ウフグシクについても調査を実施するとともに報告書発刊のための資料整理を行う。</p>	
令和3年度取組状況(成果)	<p>①埋蔵文化財の有無確認に対する回答を274件行った。</p> <p>②トリイ通信施設等を含む開発調整のための試掘調査を3回実施した。</p> <p>③楚辺徳地原遺跡 A・B の図版作成、メーダグシク及びウフグシクの試掘調査を実施した。また、大湾アガリヌウガン遺跡の報告書発刊に向けて、令和2年度発掘調査分遺物集計・集計表作成等を行った。</p>	
自己評価	B	計画どおりの成果があった 適正な埋蔵文化財の保護が図られた。また、メーダグシク及びウフグシクの試掘調査により埋蔵文化財の有無確認が進み、トリイ通信施設地内の楚辺徳地原遺跡 A・B と比謝川・長田川流域グスク群の報告書発刊に向けた整理も進んだ。
課題	大湾アガリヌウガン遺跡については、河川流域におけるグスク群の性格を明確にすることが求められており、今後は、これまでの調査内容を整理し報告書を作成する必要がある。	
次年度以降の取組内容(課題対応)	アガリヌウガン遺跡を主としながら比謝川・長田川流域グスク群として整理し、引き続き報告書発刊作業を行う。	

学識経験者からの意見	返還軍用地における埋蔵文化財の遺跡の報告書刊行に向けた調査等が計画的に実施され順調に進捗したものと評価する。埋蔵文化財は貴重な文化財であり共有財産として大切に保存する必要がある。引き続き調査作業の計画的な実施を望む。
------------	--

26	事業名	子ども文化育成事業		
担当部署	生涯学習課 文化センター係	事業費	775,200 円	
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実		
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展		

事業概要	小中学生を対象とした赤犬子子どもクラブ（三線・箏・太鼓）の稽古を5月から3月の間、毎週土曜日の午前中に行う。また、村内小学校のクラブ活動の支援として講師の派遣を行っている。指導は村内古典音楽組織の講師に依頼する。
令和3年度取組内容（計画）	児童生徒の伝統芸能への理解、関心を高めるため、赤犬子子どもクラブの開催。小学校の文化的クラブ（三線・箏・茶道・琉舞）活動への講師派遣等を行う。
令和3年度取組状況（成果）	全40数回の日程を組んでいたが、新型コロナウイルス感染症感染防止のための休館等により、16回の開催に留まった。申込者数は前年度より9人増と子ども達の関心も高かったが、非常に残念な結果となった。 ・赤犬子子どもクラブ（三線・箏・太鼓）延べ1,625人 三線延べ1,249人、箏延べ241人、太鼓延べ135人 ・小学校への講師派遣 5小学校 延べ445人 渡慶次小、三線4回延べ48人、茶道4回延べ44人、琉舞2回延べ20人 読谷小、三線5回延べ120人 喜名小、三線4回延べ56人 古堅小、茶道1回延べ10人 古堅南小、三線7回延べ84人、箏7回延べ63人
自己評価	C 計画どおりに実施したが、計画どおりまでの成果には至らなかった。 開催に向けての講師調整、事務調整は順調であったが赤犬子子どもクラブは感染防止のため休館となり計画通りに実施できなかった。 6月、7月、8月、9月、1月は1回も開催が出来なかった。
課題	申込者が多いことから、伝統芸能への関心が高いことが分かるので、より丁寧に指導が行き渡るようなクラス配置を考える。
次年度以降の取組内容（課題対応）	読谷まつりや文化祭への出演を目標に、児童生徒が安心して練習に取り組めるような環境・体制を整え、伝統芸能の継承を図る。

学識経験者からの意見	小・中学校と連携した伝統芸能の体験活動の推進は、地域に誇りと愛着が持てる児童の育成と地域文化の振興に寄与しているものと考え。コロナ禍の中、開催中止や実施回数が減少したのは児童生徒の安全確保のためであり適切な対応であった。今後とも多くの子供が地域文化に触れることができるよう支援の継続を望む。
------------	---

27	事業名	沖縄語保存継承事業		
担当部署	文化振興課 村史編集係	事業費	6,998,000 円	
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	地域文化の創造発展		
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展		

事業概要	現在では、日常生活で会話することも少なくなった沖縄語（しまくとぅば）の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しむための「単語・音声データベース」を作成・公開する。
令和3年度取組内容（計画）	これまでに収集した民話や民俗に関するデータ整理とともに新たな聞き取り調査も実施し、村内におけるしまくとぅばの多様性を示す「しまくとぅばマップ」を作成するとともに、しまくとぅばの単語やその用例、音声をインターネットで公開する。
令和3年度取組状況（成果）	「しまくとぅばマップ」では字ごとに特徴的な言い方をする動植物や生活の中の言葉を地元の方の音源をつけて実際の発音を学べるようにした。 「しまくとぅば単語帳」では、約14,000単語と3,000件の音声データを五十音順で検索して、その意味や用例を調べることができるようにした。
自己評価	B 計画どおりの成果があった。 ネット環境を活用することによって、単語や音声データの公開ができた。また、村広報誌などによって事業をPRすることができた。
課題	今後も活用を進めていくために、単語や音声、用例等のデータを充実させる必要がある。 ネット環境だけでなく、しまくとぅば講座を開催することによって、普及・啓発に努める必要がある。
次年度以降の取組内容（課題対応）	ホームページ（しまくとぅばデータベース）のコンテンツを拡充し、より魅力的なサイト構築を目指す。 村広報誌等での周知、普及のほか、これまでの成果物を利用した村内各地域活動等での沖縄語（しまくとぅば）講座を実施する。

学識経験者からの意見	インターネットを活用した「しまくとぅばマップ」「村内の民話・音声資料」の公開・発信は、地域の言葉「ウチナーグチ」保存・継承に寄与しているもので評価される。今後、生涯学習や学校教育の場等で幅広く活用されることを望む。作成したデジタル資料が多くの村民の方々に利用されるためには継続的な広報が必要である。
------------	---

28	事業名	鳳ホール自主事業		
担当部署	生涯学習課 文化センター係	事業費	2,572,365円	
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実		
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展		

事業概要	鳳ホールを中心に自主事業である「民俗芸能祭」「創作子どもミュージカル」や、外部の文化事業等の誘致を行うことにより、優れた芸術を村民が鑑賞する機会を作る。また、各地域に伝わる伝統芸能等の保存・継承に努める。		
令和3年度取組内容(計画)	8月に「創作子どもミュージカル」公演を実施する計画		
令和3年度取組状況(成果)	子どもミュージカルは順調にスタートし練習を重ねたが、緊急事態宣言による度重なる休講、また夏休みに入り感染拡大したことにより開催中止となった。 文化・芸術等の公演会誘致も休館や集客する事への不安から実施できなかった。		
自己評価	D	計画どおりに実施できなかった。	
		優れた芸術に触れる機会を提供する事業であるが、コロナ禍による感染防止のため事業実施が出来なかった。	
課題	コロナ禍のような状況下でも、文化・芸術に触れる機会、発表できる機会をつくる方法を探る。		
次年度以降の取組内容(課題対応)	令和4年度は「第11回読谷村民俗芸能祭」を開催し、読谷村の民俗芸能の素晴らしさを広く周知する。 地域伝統芸能等映像保存事業として瀬名波の伝統芸能である「真福地のはいちゃう」「しゅんどう」を映像記録として残し、継承に寄与する。		

学識経験者からの意見	創作子供ミュージカルの取組は、子供達の豊かな感性を築く上で大切な事業であるが、今回コロナ感染症感染拡大のため、実施出来なかったことは安全確保の面から適切な対応であった。各字に伝わる伝統芸能を映像に記録・保存することは、地域文化の継承・保存に寄与しており継続的な取組を望む。伝統芸能祭の開催は、担い手の把握、世代の担い手となる子供達へ興味を持たせるきっかけにもなり、感染症防止策を工夫し開催できるよう努めて頂きたい。
------------	---

29	事業名	博物館展示事業		
担当部署	文化振興課	文化振興係	事業費	1,091,868円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち		地域文化の創造発展	
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通じた学びの環境と読谷の地域文化の継承・創造・発展		地域文化の継承・創造・発展	

事業概要	文化活動及び生涯学習の充実に努め、地域文化・芸術の振興を目的とする。		
令和3年度取組内容(計画)	①コンタンザミュージアム常設展示の管理・展示替え ②コンタンザミュージアム企画展の企画・運営		
令和3年度取組状況(成果)	企画展「平成31・令和元年度新収蔵品展」(観覧者数:957人)、「令和3年度児童生徒作品展」(1,882人)、「2022 読谷やちむん展」(3,170人)を開催した。新型コロナウイルスの影響で中止になった企画展の一部は、ウェブで公開した。常設展については、2回の展示替えを行った。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	展示に関するアンケートで、常設展は72%、企画展では96.5%が「とてもよかった」または「よかった」と回答しており、多くの方に楽しみながら読谷村の歴史や文化等を学ぶ機会を提供することができた。		
課題	昨年度に比べ企画展では満足度が19.5%上がっており、常設展ではほぼ昨年と同程度である。今後もこれを維持できるような展示内容を実施していく。		
次年度以降の取組内容(課題対応)	周年事業や、季節ごとの行事に関連させた展示など、新しい内容を取り入れることで満足度を維持していく。		

学識経験者からの意見	各企画ともほぼ計画実施されている。利用者評価も展示で72%・企画展示で約97%が「とてもよかった」となっており、文化・芸術の振興に寄与し評価できる。コンタンザミュージアム公式サイトも多くの方が閲覧・観覧され文化観光推進の役割も担っている。今後とも多くの方に読谷村の文化・歴史・芸術・自然に興味を持っていただけるよう継続的な展示・企画展の取組と発信を望む。
------------	---

30	事業名	博物館教育普及事業		
担当部署	文化振興課	文化振興係	事業費	9,756,393円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち		地域文化の創造発展	
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの環境と読谷の地域文化の継承・創造・発展		地域文化の継承・創造・発展	

事業概要	村民に読谷村の歴史・文化・芸術・自然を理解してもらい、読谷村民としてのアイデンティティを確立してもらうことによって、これからの村づくりに寄与する人材を育成する。また、村外の方には読谷村の魅力を紹介し、理解者となっていただく。		
令和3年度取組内容(計画)	①講座の企画・運営 ②年報・紀要の発刊 ③実習生の受け入れ ④ミュージアム運営委員会の開催		
令和3年度取組状況(成果)	①11月に「中学生工芸体験」、12月に「未就学児向けワークショップ『ゆんたんざいろとかたちの探検隊』」、3月に「野鳥観察会」を開催した。 ②「令和2年度年報」、「紀要第45号」を発刊した。 ③博物館学芸員実習生を2人受け入れた。 ④ミュージアム運営協議会を3月に開催した。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	昨年引き続き新型コロナウイルスの影響を受けたが、講座の開催時期の変更や参加定員の少人数化など、感染対策を取りながら開催し、アンケートを実施した「野鳥観察会」では回答者全員から「とてもよかった」という評価をいただいた。		
課題	新型コロナウイルスの影響もあり、各取り組みが年度の後半に集中しがちであった。		
次年度以降の取組内容(課題対応)	新型コロナウイルスの影響を考慮し、適切なゆとりをもって各取り組みを実施できるようなスケジュール管理を行う。		

学識経験者からの意見	<p>発刊物の発行、実習生、野鳥観察会等が計画通りに実施され成果はあったと認められる。コロナ感染症拡大で日程変更もあるが、利用者の安全確保のため適切な対応であった。特に野鳥観察会では利用者全員から「とてもよかった」とあり、利用者へ興味・関心を持たせることができたものと評価できる。今後とも生涯学習の推進、地域づくりに寄与する人材育成に向け取組の充実を望む。実施に向けては感染予防対策の徹底した運営・対応を願う。</p>
------------	---

31	事業名	ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業		
担当部署	文化振興課 文化振興課係	事業費	172,809,412円	
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	地域文化の創造発展		
教育振興計画基本 目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地 域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展		

事業概要	世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム及び座喜味城跡周辺の自然・歴史・文化資源を一層活用できるよう、周遊する観光客の誘客や来訪者の利便性を確保するために駐車場及びトイレ等付帯施設を整備する。		
令和3年度 取組内容 (計画)	世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム及び座喜味城跡来訪者のための駐車場整備に向け、駐車場用地対象地の分筆及び用地取得を行う。		
令和3年度 取組状況 (成果)	駐車場用地対象地の分筆及び用地取得を行った。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	駐車場用地を取得したことで、世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム及び座喜味城跡の一層の活用に向けた環境整備を進めることができた。		
課題	駐車場整備を進めるとともに、世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム及び座喜味城跡の更なる活用を図るための施設周知とアピールが必要である。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	駐車場整備を進めるとともに、一層の活用促進のため、旅行社等と観光券契約を継続するとともに修学旅行フェア等への参加を行う。		

学識経験者からの 意見	ユンタンザミュージアム及び座喜味城跡には多くの観光客が訪れ、駐車場や公衆トイレの整備は必要と認められる。駐車場予定対象地の分筆及び用地取得ができたことは成果があったと評価できる。障がい者、高齢者等の利用も踏まえ、全ての方が利用しやすいよう整備が進められることを望む。
----------------	---

3 地域との連携による教育環境づくり

1) 健全な青少年の育成

32	事業名	地域学校協働活動推進事業		
担当部署	生涯学習課	生涯学習係	事業費	315,914 円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち		生涯学習の充実	
教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり		健全な青少年の育成	

事業概要	地域学校協働活動本部の設置（2 中学校区） 地域学校協働活動推進員の配置（中学校区毎に 1 名：計 2 名 ・地域学校協働活動支援ボランティア養成講座等の開催、各種ボランティアの派遣実施。） 学校支援ボランティア（地域人材）を学校の要望に応じてコーディネートする。学校・地域・行政の連携を図り事業実施する。		
令和 3 年度取組内容（計画）	・学校支援ボランティア登録募集、地域学校協働活動推進員の配置、学校支援ボランティア活動、ボランティア養成講座実施		
令和 3 年度取組状況（成果）	・学校支援ボランティア登録 122 人、コーディネーター 2 人 ・ボランティア活動 91 回延べ 309 人 ・ボランティア養成講座 3 回延べ 41 人 学校から要請のあったボランティアを派遣し学校地域の連携が図られた。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	コロナ禍での学校支援ボランティア活動は、学校側、ボランティアを行う側も目的を持ち達成感を得ることができたと感じた。		
課題	地域学校協働活動推進事業とコミュニティスクールの事業を理解できる仕組みを構築する。		
次年度以降の取組内容（課題対応）	毎週木曜日の教育委員会実務者ミーティングを開催し、情報共有及び適宜対応を行う。		

学識経験者からの意見	地域学校協働活動推進員においては、計画通り各学校から要請のあったボランティアを派遣することができた。学校・地域の連携が図られたことは地域と学校の橋渡し役として成果があり評価できる。今後とも多くの子供の参加、地域の方が参画できるよう多様な活動内容の取組を望む。		
------------	---	--	--

33	事業名	放課後子ども教室推進事業		
担当部署	生涯学習課	生涯学習係	事業費	3,237,269円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち		子どもの教育の充実	
教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり		健全な青少年の育成	

事業概要	週に1～5回、学校以外で放課後の活動拠点として、村内5小学校区の公民館等を活用した、自由で安心安全な居場所として児童らへ提供する。		
令和3年度取組内容(計画)	参加希望者を募りコーディネーター及び見守りボランティアを配置し、各わんぱく広場で運営方針を決めてそれぞれが独自に活動する。		
令和3年度取組状況(成果)	村内9箇所の自治会で実施(渡慶次校区は小学校を活用し事業実施した。)実施回数:308回 延べ2,940人、見守りボランティア登録43人、コーディネーター登録7人		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	コロナ禍の開催についても、自治会やボランティアと連携を図り、安全対策を行い実施することができた。行動が制限される中、わんぱく広場では外遊び等を含め友達と地域の大人と交流し、遊びや学習等を通じた「育ちあい」が行われ、子どもの成長に貢献できた。		
課題	わんぱく広場の事業周知と見守りボランティアの確保		
次年度以降の取組内容(課題対応)	事業周知を広報よみたん等で行い、村民の理解を深め、ボランティア人材の確保に努める。		

学識経験者からの意見	地域公民館を利用した「わんぱく広場」では、多くの子供たちが参加し実施されたことは、安全安心に過ごせる「居場所の確保」、異年齢交流による「社会性の育成」に繋がり事業の目的が達成されたものと評価される。ボランティアの確保が課題となっており、各学校や地域自治体を通じた各家庭への継続的な広報が必要である。今後とも実施に向けては感染予防対策を徹底し、安全確保を第一にした運営・提供を望む。
------------	--

34	事業名	村子ども会交流事業		
担当部署	生涯学習課	生涯学習係	事業費	0円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち		生涯学習の充実	
教育振興計画基本 目標及び施策名	地域との連携による教育環境づく り		健全な青少年の育成	

事業概要	歴史や文化、生活環境の異なる地域との様々な交流を通して、他者理解やコミュニケーション能力の向上を図り、未来の担い手を育成するために県外の子ども会育成連絡協議会と相互交流を行う。			
令和3年度 取組内容 (計画)	岐阜県白川村子ども会育成連絡協議会との間で、夏冬相互交流を行う。			
令和3年度 取組状況 (成果)	令和3年度も令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策により中止となった。 今後に向けて交流事業に参加したことのある方たちにアンケートを実施した。			
自己評価	D	計画通りに実施できなかった。		
	交流事業参加者アンケート及び座談会を行い、これまでの事業の成果や課題をまとめ、今後の交流事業の方針を再確認することができた。			
課題	交流事業の次候補が未定である。			
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	令和4年度・5年度は、コロナ禍も可能な交流事業を実施する（県内交流・村内でのリーダー研修）その間、白川村子ども会交流終了後の交流先の選定基準をつくり情報収集を読子連と共に行う。			

学識経験者からの 意見	子供の直接体験が不足し「協調性」「規範意識」を育む機会が減少していることが懸念されている。それを踏まえ本村「読子連」では、多様な資質をもった本村の未来の担い手を育成することを目標に相互交流が企画・計画されている。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大で中止されたが、子供の安全確保のためであり適切な対応であった。今後、感染症の長期化が考えられ事業の進め方に課題がある。交流先の選定や実施に向けた判断は協議会と連携し決定できるよう望む。			
----------------	--	--	--	--

35	事業名	青少年センター事務運営事業		
担当部署	学校指導課	学校指導係	事業費	10,141,126円
総合計画施策名	ちむ美らさあるひとの学び育ち		子どもの教育の充実	
教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり		健全な青少年の育成	

事業概要	青少年センターでの教育相談や不登校、適応障害の児童生徒の登校支援や学習支援、各学校へ心の教育相談員の配置を行う。		
令和3年度取組内容(計画)	青少年センターでの面談、電話相談 SSWによる学校、関係機関との連携や情報交換 心理カウンセラーによる学校での講話や関係機関との連携		
令和3年度取組状況(成果)	青少年センター相談員7人 所長兼相談員1人、SSW1人、心の教室相談員5人 (2中学校を2人で対応、5小学校は3人で対応) ・心理カウンセラー(公認心理士)1人 週1回 ・心の教室相談対応(各学校ごと) 渡慶次小学校116件、読谷小学校231件、喜名小学校106件、 古堅小学校170件、古堅南小学校234件、読谷中学校208件、 古堅中学校214件		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	通常の業務に加え、新型コロナウイルス感染症対策のため学校が休校になったことにより、児童生徒や保護者の対応やセンターでの相談件数は増加したが、学校・相談員・センターが連携し対応することができた。		
課題	青少年センター学習室(文化センター資料室)の活用と機能の充実		
次年度以降の取組内容(課題対応)	心の教室相談員の各学校での活用のあり方について検討及び各小学校への1人配置		

学識経験者からの意見	青少年センター相談員の努力と的確な役割により、心の悩みを抱えている児童生徒へのケアが、進んでいることを評価する。その証拠は、相談件数にあらわれている。中でもSSW(スクールソーシャルワーカー)が対応した相談件数が、昨年度の2倍にもなり、課題解決に努力したことを評価したい。
------------	--

2) 地域とともにある信頼される学校づくりの推進

36	事業名	小学校校舎等維持補修事業		
担当部署	教育総務課 施設係	事業費	5,652,420円	
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実		
教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	地域とともにある信頼される学校づくりの推進		

事業概要	<p>村立小学校施設の定期的な点検を行い、必要に応じて工事等を実施し、安全・安心な教育環境の確保を図る。</p>		
令和3年度取組内容(計画)	<p>読谷小学校のコンクリートブロック塀の一部に建築基準法上、不適格な箇所や傾斜している箇所があります。その部分の安全措置をするため改修検討(設計委託)を行う。</p>		
令和3年度取組状況(成果)	<p>ブロック塀等改修設計委託業務のなかで、新たに擁壁工事を設置する案を検討したが、多額の工事費が必要となったため、既存ブロック塀の高さを抑え、控え壁の補強を追加する案を検討・採用することで、工事費を抑えることが可能である。</p>		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	<p>当初計画していた擁壁案では、工事のために幼稚園や県道6号線にも影響が出ていた。既存ブロック塀の補強案を採用することで、周辺への影響や危険性の抑制、財政負担の軽減に努めることが出来た。</p>		
課題	<p>適正な事業スケジュールの管理及び事業費抑制が課題である。 村内5小学校施設における長寿命化やこれに関連する定期的整備スケジュールの検討が必要である。</p>		
次年度以降の取組内容(課題対応)	<p>読谷小学校のブロック塀改修については、道路占用許可などの手続き、中部土木事務所との事前調整を行い、夏休み期間での工事施工を行えるようにしなければならない。また、校舎改築と同時に擁壁工事の検討も必要になると考えられる。</p>		

学識経験者からの意見	<p>学校は、安全な場所であるべきで、危険な場所は改善すべきである。読谷小学校のコンクリートブロック塀の一部に建築基準法上、不適格な箇所や傾斜しているところがあり、その部分の安全措置をするための改修計画ができたことを評価する。速やかに工事の施工が、遂行されることを願う。</p>
------------	---

37	事業名	古堅南小学校校舎新增改築事業		
担当部署	教育総務課 施設係	事業費	151,319,529 円	
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実		
教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	地域とともにある信頼される学校づくりの推進		

事業概要	古堅南小学校は竣工（1979 年）から築 43 年以上が経過しており、老朽化及び将来児童増加による教室不足解消のため改築を行う。		
令和 3 年度取組内容（計画）	古堅南小学校校舎改築事業推進のため、3つの業務を計画している。 ①改築実施設計委託業務（繰越）②仮設校舎磁気探査委託業務③仮設校舎賃貸借		
令和 3 年度取組状況（成果）	古堅南小学校校舎改築事業推進のため、3つの業務を実施した。 ①改築実施設計委託業務（繰越） 契約日：令和 2 年 5 月 20 日、期間：令和 3 年 5 月 31 日迄 ②仮設校舎磁気探査委託業務 契約日：令和 3 年 6 月 28 日、期間：令和 3 年 8 月 31 日迄 ③仮設校舎賃貸借 契約日：令和 3 年 5 月 19 日、賃借期間：令和 6 年 3 月 31 日迄		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		年度内に仮設校舎設置及び引越し作業を終えることができた。	
課題	適正な事業スケジュールの管理及び事業費抑制が課題である。また、学校側及び関係機関との細かな調整や連携が必要である。		
次年度以降の取組内容（課題対応）	文部科学省及び沖縄防衛局、関係機関と調整を行いながら事業スケジュールに遅れが生じないように対応を行う。また、工事関連業務の発注時期も適切に執行するようを行う。		

学識経験者からの意見	いよいよ古堅南小学校校舎改築事業が動き出し、児童・保護者・教職員・地域の皆さんが、大きな関心をもって見守っている。担当職員や関係者の皆さんには、「より良い環境が、りっぱな人を育てる」との思いで、事業推進に取り組んでいただきたい。また、工事期間中、安全に万全を期して工事が施工されることを願う。
------------	--

38	事業名	中学校校舎等維持補修事業		
担当部署	教育総務課 施設係	事業費	12,801,738 円	
総合計画施策名	ちむ美らさあるひとの学び育ち	子ども子育ての推進		
教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	地域とともにある信頼される学校づくりの推進		

事業概要	<p>村立中学校施設の定期的な点検を行い、中学校施設管理運営事業で実施する修理・修繕等を除く、必要な比較的大規模な工事等を実施し、安全・安心な教育環境の確保を図る。</p>		
令和3年度取組内容(計画)	<p>①読谷中学校雨水排水管敷設工事 ②古堅中学校防球ネット設置工事 ③古堅中学校プール出入口スロープ設置工事</p>		
令和3年度取組状況(成果)	<p>①雨天時に読谷中学校運動場の雨水が歩道及び村民センター線へオーバーフローし、生徒の登下校へ支障をきたしていたが、8月に雨水排水管の敷設を完了し、道向かいの沈砂池へ誘導することで雨天時のオーバーフローを防ぐことができた。 ②9月に古堅中学校運動場の東側に高さ6m、幅16mの防球ネットの設置を完了し、隣接するマンション敷地内へのボール飛来を防ぐことができた。 ③12月に古堅中学校プール出入口へのスロープ設置を完了し、車椅子を使用する生徒も安全にプールへ出入りすることができるようになった。</p>		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	それぞれの工事を計画どおりに施工実施したことで、安全・安心な教育環境の確保を図ることができた。		
課題	今後もあらゆる生徒が安心して授業等が受けられるよう安全な学習環境を整備する必要がある。		
次年度以降の取組内容(課題対応)	各中学校からの「学校施設・設備等の修繕及び新設要望調書」で要求される大規模な工事等に関して、現場確認やヒヤリングを行いながら検討し、実施する。		

学識経験者からの意見	それぞれの工事は、各学校が安全面も含めて懸念した場所であり、改修工事が施工できたことを評価する。今後も、各学校から情報を収集しながら、安全・安心な教育環境づくりに目配りを願う。
------------	--

39	事業名	読谷中学校校舎新增改築事業		
担当部署	教育総務課 施設係	事業費	3,895,264 円	
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実		
教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	地域とともにある信頼される学校づくりの推進		

事業概要	読谷中学校には現在、普通教室 24 室、特別支援教室 5 室の教室があるが、令和 5 年度には教室不足が見込まれるため、普通教室 2 室の増築を行う。		
令和 3 年度取組内容(計画)	校舎増築のための実施設計委託業務。		
令和 3 年度取組状況(成果)	読谷中学校校舎増築実施設計委託業務を行うことで、工事発注に必要な図面作成が行えた。計画としては、校舎 3 階ベランダに普通教室 1 室と特別支援教室 2 室を配置した。また、隣接教室を普通教室に改修することで、教室不足の解消に向けた準備を行うことができた。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	読谷中学校校舎増築実施設計委託業務を行うことで、補助申請に必要な図面作成や工事費の算出が終えたことで、次年度工事発注の準備ができた。		
課題	適正な事業スケジュールの管理及び事業費抑制が課題である。また、武道場天井が特定天井（脱落によって重大な危害を生ずるおそれがある天井）のため、落下防止措置の検討も必要である。		
次年度以降の取組内容(課題対応)	文部科学省及び沖縄防衛局、関係機関と調整を行いながら事業スケジュールに遅れが生じないように対応を行う。		

学識経験者からの意見	令和 5 年度には教室不足が見込まれることから、教室不足の解消に向けて関係機関と調整を行い、次年度の工事発注に向けて準備ができた。そのことを大いに評価する。
------------	--

40	事業名	幼稚園園舎等維持補修事業		
担当部署	教育総務課 施設係	事業費	1,287,009円	
総合計画施策名	ちむ美らさあるひとの学び育ち	子ども子育ての推進		
教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	地域とともにある信頼される学校づくりの推進		

事業概要	<p>村立幼稚園施設の定期的な点検を行い、幼稚園施設管理運営事業で実施する修理・修繕等を除く、必要な比較的大規模な工事等を実施し、安全・安心な教育環境の確保を図る。</p>		
令和3年度取組内容(計画)	<p>喜名幼稚園雨除け設置工事</p>		
令和3年度取組状況(成果)	<p>6月中旬に雨除けアルミ建具を設置したことで、梅雨の時期でも園児たちが雨風にさらされることなく安全に靴の着脱ができるようになり、保護者による送り迎えなども安全に行えるようになった。</p>		
自己評価	B	<p>計画どおりの成果があった。</p>	
		<p>6月中旬に雨除けアルミ建具を設置したことで、梅雨の時期において特に期待した効果を発揮することができた。</p>	
課題	<p>ほかの幼稚園でも雨天時の排水の問題等がある。</p>		
次年度以降の取組内容(課題対応)	<p>各幼稚園からの「学校施設・設備等の修繕及び新設要望調書」で要求される大規模な工事等に関して、現場確認やヒヤリングを行いながら検討し、実施する。</p>		

学識経験者からの意見	<p>施設の安全点検を定期的に行うとともに、各園の修繕箇所等の情報収集のもと、計画的に修繕等を実践している。安全で、よりよい環境づくりに貢献している。</p>
------------	---

3) 新しい時代を展望した教育行政の充実

41	事業名	家庭教育相談支援事業		
担当部署	生涯学習課	生涯学習係	事業費	618,254 円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実		
教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	新しい時代を展望した教育行政の充実		

事業概要	気軽に子育ての相談を行える環境をつくり、適切な相談機関へつなぐ仕組みづくりをし、孤立しない子育て環境をつくる為の仲間づくりを行う。			
令和3年度取組内容(計画)	①子育てまーるでは、リサイクル会とミニ講座を月1回実施し子育ての相談を気軽に行える環境を整える。その他単発講座開催として、②子育て応援講座・お父さんの子育て講座 ③支援チーム学習会及び調整会議等を行い子育てに関する学びを展開する。			
令和3年度取組状況(成果)	①子育てまーる 18回延べ376人 ②子育て応援講座・お父さんの子育て講座 9回延べ123人 ③支援チーム学習会及び調整会議 13回延べ94人 受講者からは、「子育て相談会」のような固いイメージではなく、気軽に参加する中で、子育てに関する相談等が行えた。専門部署(相談員)へのつなぎを行うことで、子育て支援として成果があった。			
自己評価	B	計画どおりの成果があった。		
	家庭教育の充実及び支援事業としての本事業は、様々な工夫を行い、村民が参加しやすい環境をつくることができた。			
課題	家庭教育支援チームメンバーが相談のつなぎ方をどのように行うか相談支援体制を整える。村民へ周知を行う。			
次年度以降の取組内容(課題対応)	子育て世代包括支援実務者会議に参加し行政内の連携を図る。広報よみたん等を活用し情報発信する。			

学識経験者からの意見	核家族が進み子育ての悩みを話せる場を求める方が多くなっている中、各機関が連携した「家庭教育支援」事業の役割は重要と考える。今回、「子育て応援講座」等計画された取組が計画通り実施され、多くの村民に子育てに係る情報を提供できたことは成果であり評価できる。コロナ感染症対策では、ガイドラインに従い安全を確保した開所を望む。今後とも各学校・保育園の支援員、ヘルパーと連携を図りながら支援及び情報提供をお願いする。
------------	--

○新型コロナウイルス感染症対策

42	事業名	学校保健特別対策事業		
担当部署	学校指導課	学校指導係	事業費	997,600円
総合計画施策名	※新型コロナウイルス感染症対策事業のため施策位置づけなし。			
教育振興計画基本目標及び施策名	※新型コロナウイルス感染症対策事業のため施策位置づけなし。			

事業概要	新型コロナウイルス感染症対策を行うために村立幼稚園、小学校、中学校に衛生資機材を購入し、配布する。		
令和3年度取組内容(計画)	村立幼稚園、小学校、中学校の感染症対策のため、衛生資機材を購入し、配布する。 ハンディースプレーガン (254台)		
令和3年度取組状況(成果)	村立幼稚園、小学校、中学校において感染症対策のための衛生資機材の購入を行った。 ハンディースプレーガン (254台)		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	村立幼稚園、小学校、中学校において衛生資機材を配布したことで、感染症対策を行いながらの学校運営を行うことができた。		
課題	本事業については、感染症対策のための特別事業であり、事業に係る課題はないが、各学校では引き続き感染症対策のための対応を行う必要がある。		
次年度以降の取組内容(課題対応)	各学校の事務運営事業において、衛生資機材の購入を行い、各学校での感染症対策を継続する。		

学識経験者からの意見	新型コロナウイルス感染症が、ひろがり猛威をふるっている。各幼稚園・学校とも新型コロナウイルス感染症対策には頭を痛めている。各幼稚園・小学校・中学校に感染症対策のための衛生資機材を配布したことは、時期を得た事業と大いに評価する。一日も早い解決を念じている。
------------	---